

女子専門 実業団自転車チーム

「A.C.八戸学院」発足

栄養管理、スキルアップ支援

東京五輪へ選手育成

八戸市の八戸学院大学自転車競技部は24日までに、県内初の実業団自転車競技チーム「A.C.八戸学院（アスリートクラブ八戸学院）」を発足させた。同チームを含め全国に四つしかない女子専門チームで、同大が中心となり、選手のスキルアップや栄養管理などをサポート。2020年の東京五輪を視野に女子選手の育成、発掘に取り組む。同大は14年、休部していた自転車競技部を再開。今年の全日本大学対校選手権で女子総合3位になるなど、各種大会で結果を残している。健康医療学部があるため栄養管理やトレーニング法などを指導する教員も充実しており、チームの監督を務める同大の大谷真樹学長は「(同大ならではの)ノウハウを生かし、

科学的に勝てるチームをつくる」と話す。来年1月、全日本実業団自転車競技連盟に登録。同年4月から本格的に活動をスタートする。メンバーは、現在同大3人で自転車競技部に所属している清水知美さん、来春同大に入学予定の県外選手3人、弘前市在住の社会人選手1人の計5人。今後、ジュニア体験スクールなどを開き、地

元中高校生選手の発掘にも力を入れる。大谷学長は「東京五輪を目指して地域の皆さんと目標、夢を共有し、幅広く選手を育てていきたい」として今後、活動を支援する個人、企業サポーターを募集する予定。チームのフェイスブックで随時、情報を更新している。(山内はるみ)